



ふだん着でCO₂をへらそう事業



エコアラ

日野市環境フェア



エコクマ

2月16日(土)
13:00~16:00
イオンモール多摩平の森
イオンホール

地球温暖化の原因となるCO₂排出量を削減するには、一人ひとりが省エネを継続していくことが大切です。このイベントの中でそのヒントを見つけてみませんか？

楽しい催しが盛りだくさんです。ぜひ、ご家族皆さままでお越しください。

問 環境保全課 ☎514-8294 ID 1010966

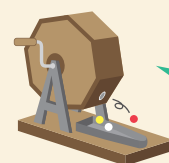
第1部 (13:00から)

■省エネ取組発表
日野第五小学校「5!GO!GO!」チーム
日野市環境かるた大会チーム戦優勝チームの発表

■日野市環境かるた2標語
入選作品表彰式
小学生が考えた44作品の表彰



■エコアラ・エコクマの省エネ啓発ショー
■お楽しみ省エネグッズ大抽選会



総勢50名にLED電球や冬の省エネグッズが当たるチャンス！
抽選券は12:30~13:30に会場入場時に配布

第2部 (15:00から)

■塗り絵缶バッジを作ろう
エコアラ・エコクマの塗り絵をして、自分だけの缶バッジを作りませんか



■エコアラ・エコクマとエコダンス
■オリジナルプローチづくり(東京都環境公社) 里山へGO! 東京の自然にタッチ

■小水力発電を体験しよう！(小水力発電を実現する市民の会)

来場者プレゼント

■アンケートに答えてガチャガチャ！
参加者全員に素敵なプレゼント

■カブトムシ幼虫配布
13:00からのプログラム参加者先着150人に日野産カブトムシの幼虫(飼育ケース付)プレゼント！
※12:00から整理券を配布



日野税務署からのお知らせ 平成30年分の確定申告書などの提出期限および納期限

問 日野税務署 ☎585-5661 ID 1002637

◆申告書作成会場のご案内

所得税及び復興特別所得税・贈与税・個人事業者の消費税及び地方消費税の申告書作成会場を次のとおり開設します。

■開設期間

2月18日(月)~3月15日(金)

※土曜・日曜日を除く。ただし、2月24日、3月3日の日曜日は開場

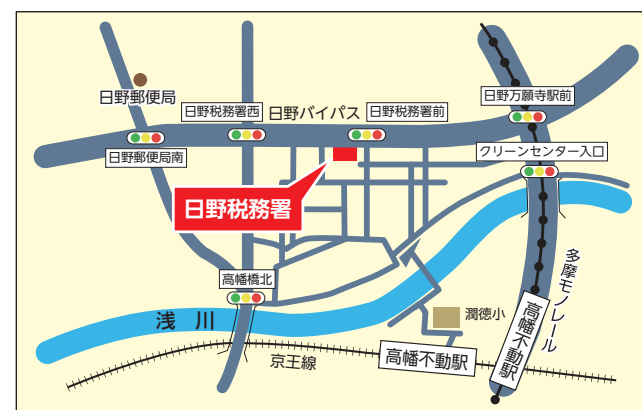
■時間

【受付】8:30~16:00(提出は17:00まで)

【相談】9:00~17:00

■会場

日野税務署 万願寺6-36-2



※多摩都市モノレール万願寺駅より徒歩12分
※京王線高幡不動駅より徒歩15分

■留意事項

1.会場開設期間中、税務署に駐車場はありません。開設

期間前についても、収容台数に限りがありますので、ご来署の際は公共交通機関をご利用ください。

2.申告書作成会場開設前は限られた人数での対応となりますので、長時間(2~3時間程度)お待ちいただくことがあります。

◆税務署でIDとパスワードを取得してe-Taxで確定申告を始めませんか

国税庁HPの「確定申告書等作成コーナー」で作成した申告書は、IDとパスワードがあれば、e-Taxで送信(提出)できます。お近くの税務署で職員と対面による本人確認の後、IDとパスワードを即日発行します。

- 勤務先のお近くの税務署でも発行できます。
- 確定申告期に限らず、いつでも発行が可能です。※税務署が開庁している日に限る
- 運転免許証などの本人確認書類をご持参ください。

◆いつでもどこでもスマホで申告

給与所得者(年末調整済み)で、医療費控除またはふるさと納税などの寄附金控除を適用して申告する方は、国税庁HPの「確定申告書等作成コーナー」でスマートフォン専用画面をご利用いただけます。

◆問合せ先

日野税務署個人課税第1部門 ☎585-5661 内線312・313
※自動音声に従って「2」番を選択してください。交換手が出ますので、内線番号をお申し付けください

平成の30年を振り返る

市長 大坪 冬彦(コラム)



平成の時代の終わりに伴い、平成の30年間でどんな時代であったかというさまざまな報道がなされています。

例えば、世界の企業の時価総額ランキング1位から50位までを平成元年と平成30年とで比べると、驚くべき変化があります。平成元年は、日本企業が1位から5位を独占し32社がランキングに入っています。一方、平成30年になると、日本企業は35位のトヨタ自動車ただ一社で、30社が米国企業でインターネットプラットフォームが上位を独占、平成元年当時は1社もランキング入りしていなかった中国企業が8社もランキング、そんな報道を見ました。

では、日野市におけるこの30年はどうな時代であったか。多摩都市モノレールや石田大橋、国道20号バイパスなどの新たな都市インフラが登場する一方、雪印メグミルクや東芝日野工場などの大手企業の撤退が相次ぎ、ごみ改革によりごみ排出量は5万4千758トン↓3万3千290トン(平成29年数値39・2%減)へと大幅に減となりました。人口は15万9千265人から18万4千667人(15・9%増)、0歳~14歳の年少人口は2万8千645人から2万3千754人(17%減)、逆に高齢者人口(1万1千772人から4万5千315人)と外国籍住民(617人から3千1人)は大幅増。少子高齢化と国際化が見て取れます。少子化の影響で小学校も20校から17校へ統廃合を行っています。保育園の園児数は1千884人から3千482人へと大幅増で共働き世帯増の傾向が、生活保護受給世帯が513世帯から2千29世帯へと大幅増、平成デフレ不況の影響を見て取れます。皆さまにとって平成はどんな時代でしたか。